

ATACの内容

本会は長年の経験により独自の技術とノウハウを有する技術者・管理者を結集し、お互いの知恵を出しあい、学習しあい、ネットワークを活用するとともに、中堅・中小企業が抱える国際化、技術開発、人材育成等の諸問題の解決を支援することにより中堅・中小企業の発展に資することを目的とする。

～ATAC規約第2条より～

ATACは上記の目的に則り、これまで11年有余にわたり中堅・中小企業の発展のために数々の活動を推進してきました。
その主なものを挙げますと

1. コンサルティング

ATAC活動の大部分を占める業務で図のように中堅・中小企業の抱えるさまざまなテーマについて約400件にのぼるコンサルティング業務を消化してきました。

2. 書籍刊行

中堅・中小企業の発展に役立つため、これまでに刊行した書籍は下記の通りです。

- ATACの経営便利帳
- 現場の課題解決はこうする（中堅・中小企業の業務改善事例）
- 中堅・中小企業へのATAC提言集
 - ① 新商品開発のヒント
 - ② ISO9000認証取得の手引き
 - ③ ISO14001認証取得の手引き
 - ④ 中小企業のためのIT
 - ⑤ 材料選択の手引き

3. NASCA(産学連携のお手伝い)

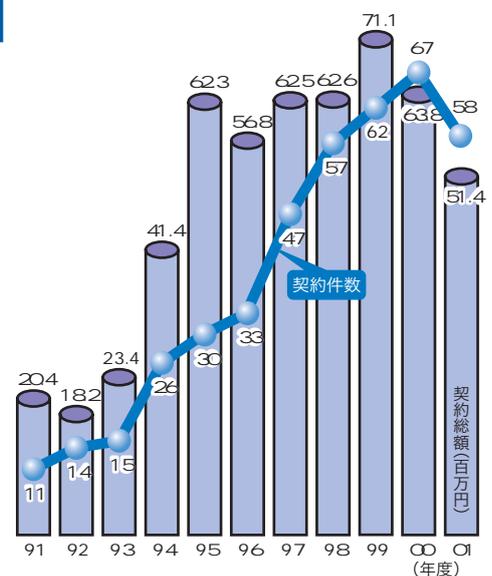
企業の技術ニーズをお預かりして、最適な技術シーズを持つ大学や研究機関などを探し、ご紹介する業務です。

4. 公的支援情報送信サービス

ご希望の企業に、国や府県等による研究開発補助金等の公的支援募集情報をタイムリーに分かりやすくe-mailやFAXで無料配信する業務です。

契約実績の推移

(単位百万円)



書評

「浜松企業」強さの秘密 (2002年8月 東洋経済新報社発行)

浜松市を中心とした半径25km四方の地域からは、トヨタ・ホンダ・スズキ・ヤマハ・カワイという巨大な世界企業が5社も生まれ、光技術の浜松ホトニクスやシンセサイザーのローランドを始め、特殊分野において世界市場で圧倒的な地位を占めているハイテク中堅企業数は20社近くに達し、ハイテク中小企業数は60社を超えている。浜松地域は内外の中堅都市や大都市と比べると、人口当たりの機械工業の付加価値は世界一だ。浜松地域を具体的に調べれば、日本の製造業の将来を展望できるに違いない。

本書は冒頭に上記のコメントを掲げ、サントリー文化財団研究補助によって多数の専門家で構成する浜松地域の研究グループが調査研究した結果を詳細にまとめている。

浜松に優れた企業が次々と生まれた要因は、この地域の歴史・風土の中にあるとして、浜松の歴史の調査から始まり、浜松の人々は権力者の庇護を受けた歴史がないため自主独立の気風が強く、「やらまいか」精神が多くベンチャー企業を生んだと解説している。

日本の経済を背負う製造業に携わる方々には、大きな示唆を与えるものと考え、ご一読をお勧めするとともに、ATAC会員は2月に浜松地区の見学を予定していることを付け加えておきます。